

TL 9000 測定データ提出方法

はじめに

この文書は、TL 9000 測定データ蓄積システム（MRS）への月次の TL 9000 データ提出において利用可能な 3 つの方法について説明している。

利用可能な方法

以下のような 3 つの方法がある。

1. 手動 — オンライン上の入力書式を使用して、手動でデータを入力する。
2. テンプレート — データをテンプレートファイルに入力し、アップロードする。
3. XML — XML ベースのファイルをマシン間インタフェースを介してロードする。

使用

これら 3 つの方法のどれを使ってもよい。また、これらを交互に使用することもできる。例えば、1 つの方法を最初の提出に使用し、別の方法を再提出に使用することもできる。1 つの方法をある月に使用し、別の方法をその次の月に使用することもできる。しかし、自動化された XML ベースの入力システムをいったん設定した場合は、それを一貫して使用することが推奨される。

長所と短所

3 つの方法にはそれぞれ長所と短所がある。それらは、以下のとおりである。

手動

長所

- 前もっての準備は必要なく、データを単純にシステムに入力する。

短所

- 入力ミスを確認する必要がある
- 月ごとにすべてのデータを再入力する必要がある
- 再提出が必要な場合、すべてのデータを再入力する必要がある
- 組織によるデータ提出の標準化された書式記録が存在しない

テンプレート

長所

- 提出されたデータの記録が組織に提供される
- 先月のファイルをコピーして、当月のデータを準備することができる
- 提出前に入力ミスを簡単に確認することができる

- 提出前にデータファイルを別の人に確認してもらうことができる
- 間違ったデータを修正してテンプレートファイルを再度アップロードするだけで再提出できる

短所

- 提出ファイルを簡単に取り出せるように整理するためのシステムを必要とする
- 新しい製品分類表がリリースされた場合、テンプレートを変更する必要がある

XML

長所

- いったん設定すると提出が完全に自動化される
- 再提出の場合は、再実行できる

短所

- 一般的に、設定のための IT サポートが必要である
- 何らかの自動化されたデータ収集及び処理が必要である
- 設定時と変更後には、特別な個別の検証プロセスと文書化が必要である

使用方法

手動

1. RMS にログインする。
2. 左側にあるメニューの TL 9000 RMS をクリックする。
3. 画面中央の“Manage a TL 9000 Registration”へ進み、データを提出しようとしている登録をクリックする。
4. 画面中央の“Data Submission Management” をクリックし、“Make a new submission for year ”行にあるデータの年をクリックする。
5. データの月をクリックする。
6. データの製品分類を選択する。
7. “Submit TL 9000 Data Online”ボタンをクリックする。
8. 16 文字の提出キーの入力を求められる。(これは提出者が作成した目に見える文字でなければならない。スペースは使用できない。)
9. 指示どおりに、テキストボックスに TL 9000 データを入力する。
10. データ入力が完了したら、提出前にデータを確認することもそのままデータを提出することもできる。

11. データを提出したら、E メールで TL 9000 データ提出受領書（DSR）を受け取らなければならない。DSR は次回の審査で必要になる。
12. データ提出後、提出したページの報告書を受け取る。

このページを必ず保存又は印刷してください。この報告書は次の審査で必要になります。この報告書には、入力したデータ及びシステムによって計算された出力値が含まれています。

テンプレート

注記：この方法のデータ提出を使用するには、コンピュータにデータ提出用テンプレートファイルをダウンロードする必要がある。そのテンプレートに適切な値を入力し、クエストフォーラムのポータルサイトにアップロードする。テンプレートファイルは、Web ページの http://tl9000.org/alerts/data_submissions.html から ZIP ファイルでダウンロードできる（すべての製品分類のテンプレートが用意されている）。テンプレートファイルに入力する際には、テンプレートにある説明文に必ず従い、注記セクションに特に注意すること。書式を変更すると提出できなくなる。

1. RMS にログインする。
2. 左側にあるメニューの TL 9000 RMS をクリックする。
3. 画面中央の“Manage a TL 9000 Registration”へ進み、データを提出しようとしている登録をクリックする。
4. データ提出管理セクションにある参照ボタンをクリックして、アップロードするコンピュータ上のファイルを選択する。
5. ファイルをアップロードするには、“Upload Template File”ボタンをクリックする。
6. “Upload Template File”ボタンをクリックして、E メールで TL 9000 データ提出受領書（DSR）を受け取らなければならない。DSR は次回の審査で必要になる。
7. データ提出後、提出したページの報告書を受け取る。

このページを必ず保存又は印刷してください。この報告書は次の審査で必要になります。この報告書には、入力したデータ及びシステムによって計算された出力値が含まれています。

XML

XML でのデータ提出について設定するには、TL 9000 Web サイト（tl9000.org）の

“Contact Us”機能で TL 9000 管理者に問い合わせてください。

16 文字の提出キー

MRS システムでは、提出データを暗号化するために 16 文字の暗号化キーが使用される。任意の英数字で、標準プリンターで印刷される文字（a-z、A-Z、0-9）を選択する。無効な文字には、スペース又は空白、及び **tab**、**backspace**、**enter** などすべての制御コードが含まれる。この提出キーは、どの提出方法にも存在する。月ごとに変更しても変更しなくてもよい。

推奨の概要

高度な自動化プロセスと必要な IT サポートが得られる組織であれば、XML ベースのプロセスが推奨される。この 2 項目のいずれかが不足している場合は、入力ミスの可能性が低減され、データの再提出が容易なことから、テンプレートの使用が推奨される。